



世界遺産って なんだろう？

1972年の国連教育科学文化機関(ユネスコ)総会で決められた「世界遺産条約」をもとに

「世界遺産リスト」に登録された自然や文化のこと。
登録によって、人間が古くから残した建物・場所・文化・自然を、国や民族の区別なく、世界共通の大切な宝物として、受け継いで守っていくという事です。

それは、その国の文化・産業・技術・歴史・自然景観など、お互いの国を知りあうことにもなるのです。

世界遺産は？

文化遺産・自然遺産・複合遺産に分かれています

2006年現在、世界には、138か国で、830件あります

日本では、文化遺産として10件、自然遺産として3件登録されています

「日光の社寺」は、文化遺産として、国内10番目に登録されました(1999年)

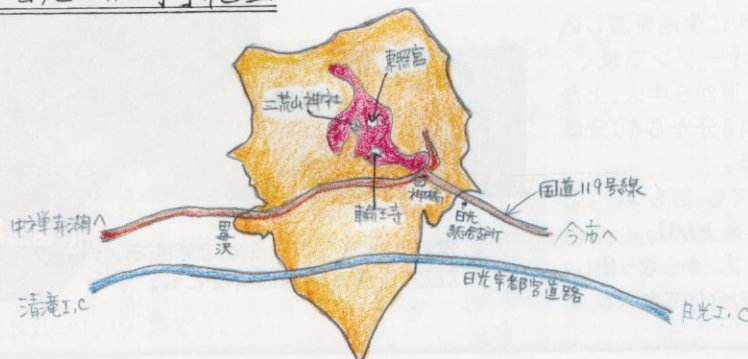
世界遺産に登録されるには？

1. 世界的に貴重で、変わることのない価値がある(本物であること)
 2. 地域や国でそれを守っていくというしかりとした考え方が ある
- 以上 2つの条件をクリアして、国内の審査をうけ、国が推薦書を作成し、ユネスコでの審査をうけ、登録を決定する

では、なぜ「日光の社寺」が 世界文化遺産に登録されたのでしょうか？

1. 天才的な芸術家の手によって作られた、日本を代表する建造物群である
2. 江戸時代の社寺建築の重要な見本である
3. 自然環境と宗教が一体となった、日本独特の神道思想が引き継がれている
(男体山など、山岳や森林は信仰の対象として聖なる意味を持つ、ている)

「日光の社寺」範囲



- 登録資産 (コアゾーン)
- 緩衝地帯 (バッファゾーン)
遺産を保護するために周囲に必ず設けなければならない区域